

告示	番号	16	慢性心疾患
	疾病名	心筋梗塞	

心筋梗塞

しんきんこうそく

概念・定義

心筋梗塞は、急激な冠動脈血流の減少により心筋壊死にいたる病態である。胸部不快感、ショックなど症状を呈する場合と、無症候性の場合がある。心筋逸脱酵素の上昇、心電図での経時的変化がある。造影検査（カテーテル、CTなど）で冠動脈狭窄、閉塞の所見がある。心筋シンチグラムで心筋血流が低下し再灌流が無い。発症早期なら、冠動脈血栓溶解療法、カテーテルで冠動脈拡張をおこなう。その後の慢性期には、病態と適応に応じて、薬物治療、冠動脈のカテーテル治療、バイパス手術、心不全治療などを行うことがある。

症状

胸部不快感、ショックなど。無症候性のことがある

治療

冠動脈のカテーテル治療かバイパス手術を行う。

川崎病では、日本循環器学会にガイドライン（川崎病心臓血管後遺症の診断治療に関するガイドライン）を参考にして行う

（"http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2013_ogawas_h.pdf"を参照）。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_27_34.html